



WATARIDORI
～渡り鳥～



ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中！
<https://tagawacir.wordpress.com/>

スマホ、携帯電話は
こちらから



たまごまごまご♪～ドイツでのイースターたまごの習慣

毎年4月中旬頃に、世界各国でイースター（復活祭）が行われます。イースターは、十字架にかけられたイエス・キリストが、その死後3日目に復活したことを祝うキリスト教の大切なお祭りで、ドイツ語では「^{オースター}Ostern」と呼ばれます。

イースターは何百年にも渡る長い歴史の中で、さまざまな習慣が発展してきました。そのひとつが、イースターのシンボルである「たまご」に関するものです。たまごは、新しい生命の象徴であることから、イースターに食べられるようになったとされています。ドイツのイースターたまごの習慣は3つあります。1つ目は、ゆでたまごに着色料で色をつけて、復活祭当日に食べるこ

と。2つ目は、中身をくりぬいたたまごの殻に色を塗ったり絵を描いたりして、ひもで木の枝に飾ること。そして3つ目は、たまごを家の庭に隠して、子どもたちに探させることです。このように、イースターには面白い習慣がたくさん。どれもドイツの子どもたちには大人気で、毎年イースターをととても楽しみにしています。みなさんと一緒に楽しみましょう！

「^{フローエ}Frohe ^{オースター}Ostern!(ハッピーイースター!)



今日の言葉

Frohe Ostern! (ハッピーイースター!)